

## な～に谷っ戸ん田 4年目の2回目の記録

### 水路のドロ上げ（堀さらい？）

と き 平成22年4月10日（土）9：30～17：30+

ところ な～に谷っ戸ん田の向こう側の水路

天 気 晴れときどきくもり（暖かな日和）

参加者 園主（テツさん）、石田、尾末、加藤、久保、坂本、柴田、高田マドンナ、高見、高橋、藤田

松本夫妻、吉田、佐々木家、ゲストは 上田さん（グリーンの方）

（17名、子ども1名 は午前の参加、 は午後の参加、 は早退）

#### 【午前・水路のドロ上げ】

この水路は15年程前の農地造成の際に生き物のために小川として残した「復元の小川」である。小川整備を要望した「恩田谷戸ファンクラブ」が管理しているが、おそらく労力不足と生き物への配慮もあって少しずつ泥をさらうだけで、水路としては不十分な整備になっていた。そこで、テツさんが「な～に谷っ戸ん田」でやろうと決断された。（石田さん記述）

水路のドロ上げは、体力と根気が必要だ。水路のマンホールの水をポンプで汲み上げ、その中に入りドロを上げる者。水路のドロを掘り、バケツに入れ、そのバケツを田んぼに上げる人と手分けして行う。バケツには紐をつけ堀から引っ張り上げる。傾斜もあり、これが中々の重労働となる。ドロは田んぼにドボンと落とす。色々な喩えを言い合いながら笑い飛ばし、快調に作業は進む。テツさんから「後20cm～30cm掘る！」と言われ、「えっ！」いつ、終わるの？

#### 【昼食】

ハンモックカフェ出店 ランチメニューは、春キャベツと豚肉どん（味噌の味付けに豆板醤を少々子どもが良く食べました！）話題の湘南ゴールドという名のみかん。レモン色なんだがこれが甘い。子どもに大うけ。久しぶりでハンモックに寝た。空と木々の広さ、鳥の声を聞き、心地よい揺れに体の力が抜けていく。異次元を楽しんだ。ありがとうございます。

上田さんから実家（伊賀）の家の前の田んぼでとれたらわさびの漬物の差し入れを頂いた。醤油におかかて頂くとならわさびの辛さが舌に心地よかった。ご馳走さまでした。

#### 【午後・水路のドロ上げの続き】

午後、テツさんが反対側から水路に入りドロ上げを開始した。深く掘るだけでは駄目だった。幅もあった。やり直しとなる。青森出身の柴田さんが、一輪車で運んでいたドロを雪掻きの要領で、「えいっ！やー！」と田んぼに向かって投げた。若いな～。

何とかカッコがついて片付け始めた。鋤、スコップ、鍬、バケツ、一輪車はドロだらけだ。気がつけば、我々もドロだらけだった。田んぼ用の長靴が大活躍した。天気も良く暖かな日和で何より。

堀切りの 泥に笑顔の 花の雨 としえ

作業中、オニヤンマのヤゴ、赤ガエル、など多くの生物を発見救助。作業後に水が入ったときには、さらさらと流れる春の小川に泳ぐ魚影（？）も見られた。

今回、田起こしも終わり、泥を田んぼに上げたことで生物にもよい水路の掃除になったのではないかと思われる。（石田さんの記述）

#### 【その他】

次回の作業予定 4月17日（土）9：30～ BBQ！

4月24日（土）田んぼの種まき

【記録：佐々木 利江】